科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	3 年	後期
科目名	母性看護学実習					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2 単位	90 時間	授業形態	実習
担当教員	野々山　未希子・小林　愛					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山)			オフィスアワー	指定なし 事前連絡必要	

授業目的	周産期における女性と子どもおよび家族の身体的、心理的、社会的特徴を総合的に理解し、母性看護が実践できる能力を養う。
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象の特徴を把握するとともに、母子を受け持ち、看護計画立案、実践、評価する基礎的能力を身につける。受け持ち事例を通して、母子とその家族のウェルネスに向けた支援を行うために必要な援助技術や健全な母子関係を成立させるために必要な指導技術について、実践を通して習得する。
授業計画	母性看護学実習時期：3 年次後期 母性看護学実習時間：90 時間 母性看護学実習施設：市立敦賀病院 杉田玄白記念公立小浜病院 たきざわ助産院産前産後の家 いちご助産院 その他の事項および実習の詳細については、別途配布する「母性看護学実習要項」による。
教材 参考文献等	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［1］母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［2］母性看護学各論　医学書院 その他必要時提示する
成績評価 基準・方法	別途配布する「母性看護学実習要項」に記載する
履修要件	母性看護学概論・母子保健学・母性看護学Ⅰ・母性看護学Ⅱを修得していること。
留意事項 その他	セルフケアのできる対象のウェルネスに向けた援助方法を考察し、実践に結びつけること。
実務経験のある 教員の教育方法	助産師としての臨床経験を活かして、妊産褥婦および新生児の看護について実習指導を行う。